

ID <sup>注1)</sup>	141201	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>	紙・電子	保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白山山地世界遺産地域における原生的ブナ林の長期変動調査				発行年月/報告年月		
					2015年	3月	
調査機関	東北森林管理局		委託機関		株式会社グリーンシグマ		
調査開始年	1999年	調査期間	2014年	8月	～	2015年	3月
調査頻度 <sup>注2)</sup>	毎年	調査時期 <sup>注2)</sup>	通年				
ヒカリツ計画	2012年3月 策定	区分 <sup>注2)</sup>	IIA	大区分 <sup>注2)</sup>	1	小区分 <sup>注2)</sup>	(1)

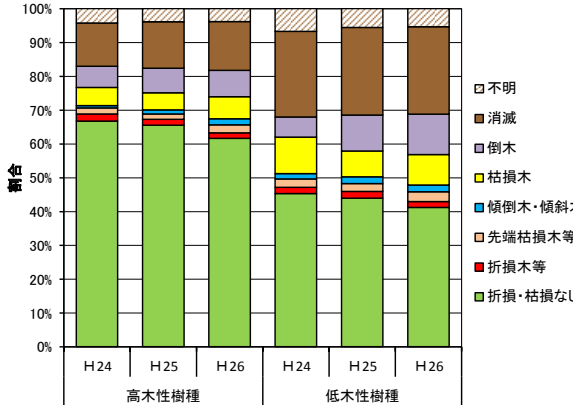
<p>調査箇所・範囲<sup>注3)</sup></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 核心地域    <input checked="" type="checkbox"/> 緩衝地域    <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域</p> <p><input type="checkbox"/> GPS等の位置データあり</p>  <p style="text-align: center;"><b>調査対象地位位置図</b></p>	<p>調査手法</p> <p>1. 倒壊林冠発生木調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青森県側、秋田県側それぞれに設置された固定調査区（100×200mの方形で、20×20mの50区画）において、樹木の生育・更新状況について調査。</li> <li>現地では、区画ごとに過年度調査で設置された立木番号を確認しながら、立木ごとに倒壊林冠木（枯損木、折損木、欠頂木、倒木等）の発生状況を確認。</li> <li>現地調査は、秋田県側で平成26年9月17～19日、青森県側で同年9月9～11日に実施。</li> </ul> <p>2. 最深積雪深調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象箇所の14地点（青森県側10箇所、秋田県側4箇所）に設置されている最深積雪計の測定を行うとともに、今年冬季の計測のために7基の最深積雪深計を建て替え、7基の補修を行った。</li> <li>降雪及び消雪の時期及び変化の把握を行うため、青森県側のB-7、B-9、秋田県側の秋B-1、秋B-3の全4箇所の最深積雪深計に設置した耐圧防水性のある温度計測データロガーを回収しデータを解析した。またデータロガーは10月下旬にB-7、B-10、秋B-1、秋B-3の4箇所に再設置。</li> </ul> <p>3. 林内気温調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定調査区等の林内では、過年度調査から継続的に林内気温観測装置が設置されている。この観測機器から昨年度調査以降の観測データを回収するとともに、観測機器の点検を行い、電池交換や収納容器の状況を確認した。</li> </ul> <p>4. 入り込み利用調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象地の溪流沿いに自動撮影カメラを設置し、撮影された画像から当該箇所への人の入り込み状況を把握。設置箇所は、青森県側のC-1、C-2、D-1～D-10の計12箇所。</li> <li>入り込み状況の人数の計数では、同一人物は1日1回のみのカウントとし、回復で確認された場合は1回のみ計数。</li> <li>カメラは2014年8月21日～29日に設置し、約2ヶ月後の10月29日～31日に回収した。設置期間は62～69日間。暗門川のD-4は歩道流失により9月12日から10月29日の47日間。</li> <li>冬季のブナ林、積雪の状況等を撮影するために、固定調査区2箇所と奥赤石の櫛石山登山路入口付近の計3地点に2013年10月に設置された越冬調査用カメラを回収し、2014年10月下旬に再設置した。</li> </ul>
--	--

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

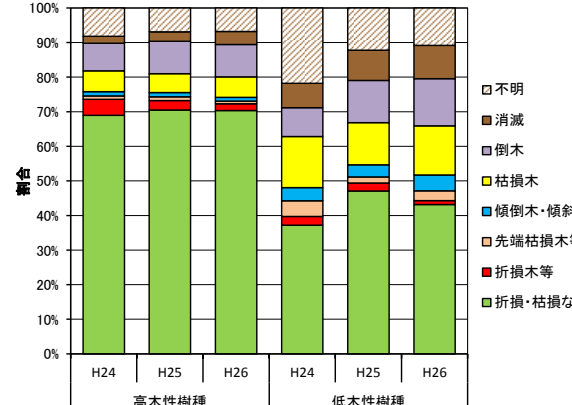
1. 倒壊林冠発生木調査

青森県側の高木性樹種1,227本（生立木：67.5% 枯損木：6.5% 倒木：7.8% 消滅：14.4% その他（不明・欠番）：3.8%）  
 秋田県側の高木性樹種1,061本（生立木：72.2% 枯損木：5.7% 倒木：9.2% 消滅：3.7% その他（不明・欠番）：9.2%）  
 ※生立木は、折損・枯損なし、折損木等、先端枯損木等、傾倒木・傾斜木の合計

**樹木の生育状況（青森県側）**



**樹木の生育状況（秋田県側）**



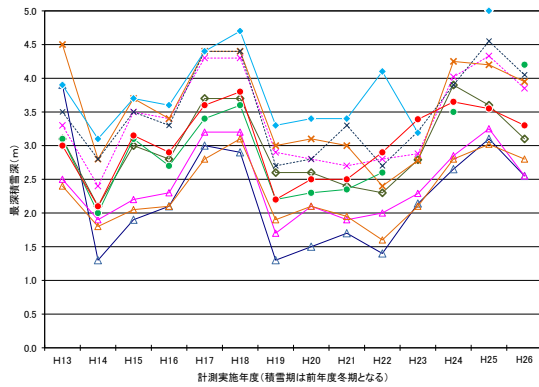
問い合わせ 林野庁 東北森林管理局 計画保全部計画課  
 〒010-8550 秋田県秋田市中通五丁目9番16号  
 TEL：018-836-2489 FAX：018-836-2203

《原本（データ）の帰属について》

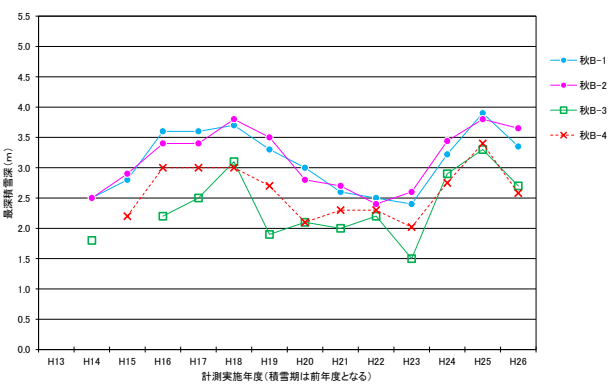
注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。  
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。  
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

2. 積雪深調査

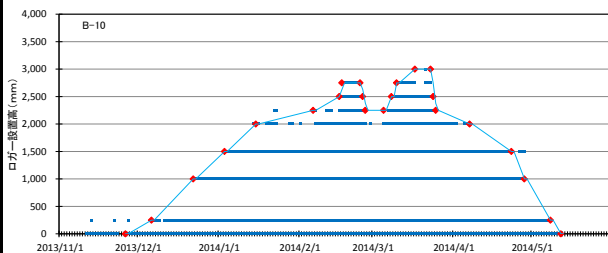


最深積雪深の経年比較(青森県側)

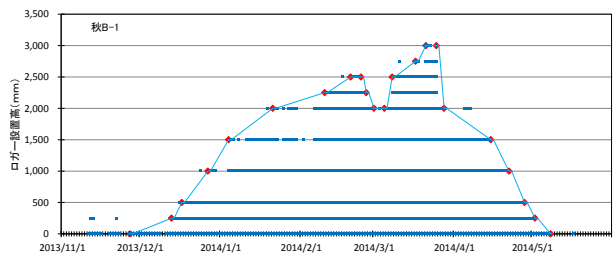


最深積雪深の経年比較(秋田県側)

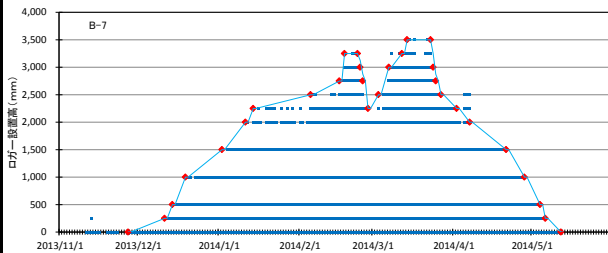
B-10(青森固定調査区内)



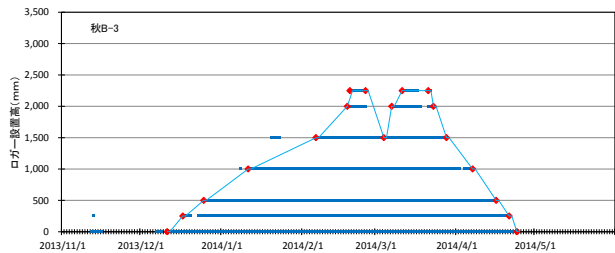
秋B-1(秋田固定調査区内)



B-7(奥赤石蘆石山登山口付近)



秋B-3(水沢山林道終点)

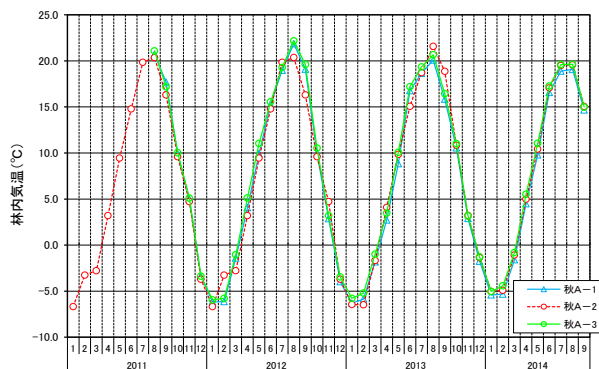


温度ロガーによる積雪深の季節変化(青森県側)

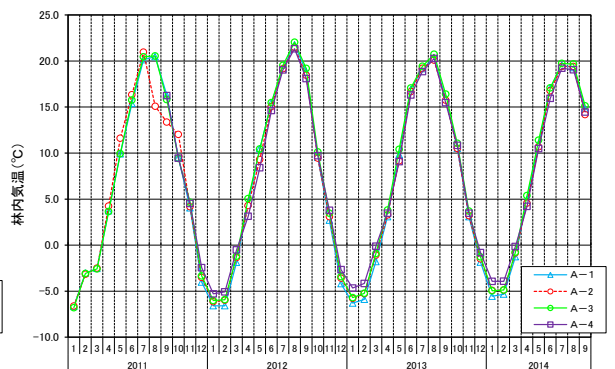
温度ロガーによる積雪深の季節変化(秋田県側)

◆:温度変化より読み取った堆雪日・消雪日 青線:日較差2.0℃以下が連続する日

3. 林内気温調査



林内気温 月平均気温の変化(青森県側)

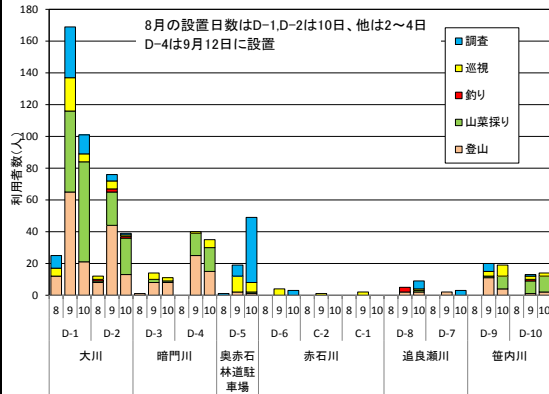


林内気温 月平均気温の変化(秋田県側)

備考

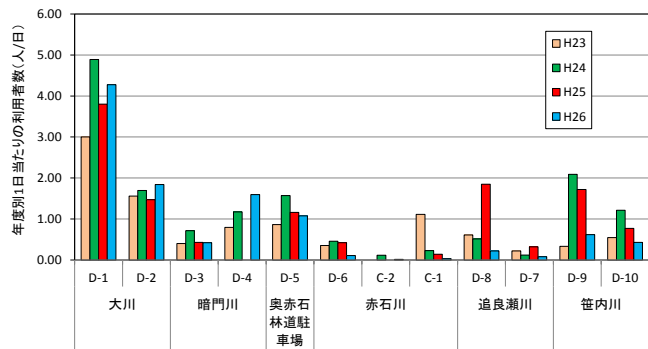
4. 入り込み利用調査

26年度



地点別の利用者の内訳

過年度との比較



H25年のD-4はカメラ不調により、データなし

H23~H26年の利用者数の比較

越年カメラの撮影状況(青森固定調査区) 撮影期間2013年11月~2014年6月



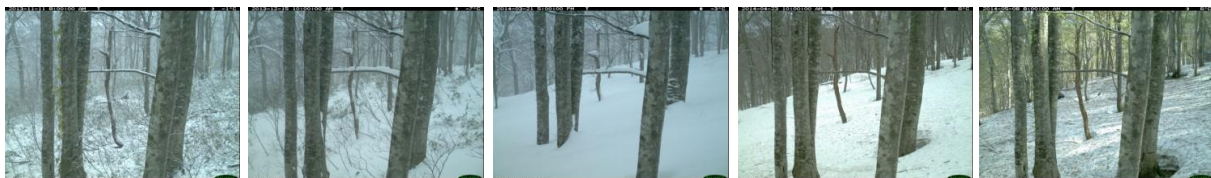
11/11 (初雪)      1/30      3/21(最大積雪深: 約2.8m)      4/15(融雪進む)      5/12

越年カメラの撮影状況(奥赤石林道櫛石山登山口) 撮影期間2013年11月~2014年6月



11/11 (初雪)      1/3      3/16(最大積雪深: 約4.4m)      4/20(融雪進む)      5/28(地表面が完全に露出)

越年カメラの撮影状況(秋田固定調査区) 撮影期間2013年11月~2014年6月



11/11(初雪)      12/15      3/21(最大積雪深 約3.4m)      4/23(融雪進む)      5/8